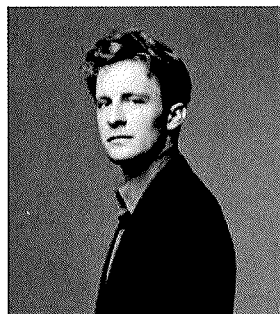


# 日本の皆さまへ

ダーラナシンフォニエッタと日本へ行くのを楽しみにしています。私はこれまで何度か訪れているのですが、日本のお客様は恐らく世界で最もクラシック音楽に長けている方々だと確信しています。そして故郷スウェーデンと文化的、さらには音楽への接し方が良く似ている気がして、日本を第2の故郷のように感じています。今回、ダーラナシンフォニエッタ、そして親愛なるチェリスト、テデーと一緒に日本で演奏できることを本当にうれしく思います。

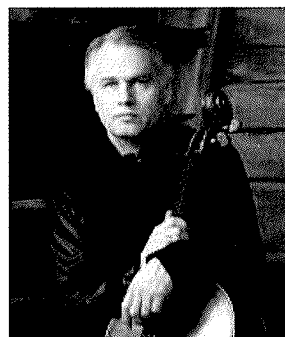
by ダニエル・ブレンドウルフ



## 【指揮】ダニエル・ブレンドウルフ

*Daniel Blendulf*

1981年ストックホルム生まれ。2015年秋からダーラナシンフォニエッタ首席指揮者兼芸術アドバイザー。マラー・チェンバー・オーケストラなどでチェロ奏者として活躍した後、指揮者に転向し、エーテボリ響、スウェーデン放送響、BBCウェールズ響などに客演している。また、2008年には、スウェーデン指揮者コンクールで1位となり、2014年にはヘルベルト・ブロムシュテット賞を受賞している。2017年6月には、読売日本交響楽団を指揮し日本デビューを果たし、さらにはデトロイト響、シドニー響、ニュージーランド響そしてフィンランド放送響などを指揮、2017年秋からのシーズンでも、シンガポール響、アイスランド響等を指揮、スウェーデンに戻ってからはロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニーなどを指揮している。また、スウェーデン国内を中心にオペラ分野でも多くの実績を残してきている。



## 【チェロ独奏】トールレイフ・テデー

*Torleif Theekén*

1962年スウェーデン生まれ。現代北欧で最も注目されているチェロ奏者。1985年に、ホプロ・カザルス国際チェロ・コンクールをはじめ3つの世界的チェロ・コンクールで優勝して注目を浴びて以来、北欧だけでなく世界各地で演奏活動を続けており、これまでもBBCフィル、バーミンガム市響、ベルリン響、チェコフィルなど数多くの著名オーケストラと共演している。そしてそれぞれの演奏会では、エサ・ベッカ・サロネン、バーク・ベルグランド、ネーメ・ヤルヴィ、フランツ・ウェザー・メストといった指揮者と共演している。室内楽の分野でも積極的な活動を続けており、世界の多くの音楽祭などでも演奏している。1986年以降、レコーディングを精力的に行っており、1995年には、ショスタコーヴィチ作曲のチェロ協奏曲(今回来日の演奏曲目)で、カンヌ・クラシック音楽賞を受賞している。1992年～1996年、デンマーク王立コペンハーゲン音楽アカデミーの教授をつとめ、現在はストックホルム王立音楽大学教授の職にある。

## 【演奏】ダーラナシンフォニエッタ

*Dala Sinfoniettan*

ダーラナシンフォニエッタは、スウェーデンのダーラナ地方の中心都市ファールン (Falun) を本拠地とし、1988年に設立された28人の常勤メンバーによる室内オーケストラ。ダーラナ地方全域を活動範囲とし、バロックから現代音楽、さらにはクラシックに限らずジャズなど他ジャンルの音楽のコンサートもおこなっており、スウェーデン各地で開催する演奏会は年間約80回に及ぶ。

また、状況に応じて他のオーケストラと共に大規模な交響曲を演奏したり、小規模室内楽曲のためにメンバーを編成したりするなど、柔軟なメンバー編成を行っている。さらに、クラシックに限らず、ジャズやポップス、現代音楽といった分野でのレコーディングも積極的におこなっている。近年、ダーラナ地方におけるオペラ公演の中核オーケストラとしても定期的に演奏するなど、活動をさらに活性化している。今回の初来日では、札幌地区と東京で演奏会を予定しており、同楽団にとって2018年の大きなイベントとして位置付けられている。

*Dala Sinfoniettan*

